

1級問題 共通

【広告物の種類及び構造】

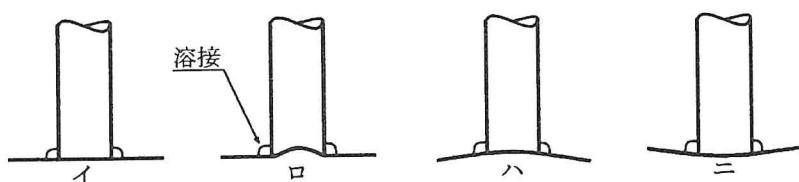
- 1 野球場内、遊園地内、駅のホームなどに表示された広告物は、屋外広告物に該当する。 (18年度 真偽)
- 2 屋上広告板(塔)、壁面広告板、突出広告板、吊下広告板、建植広告板、シートポスター広告板、立看板、電柱広告板は、いずれも広告板の設置位置による分類である。 (17年度 真偽)
- 3 自動車の車体に表示される広告は屋外広告物に該当しない。 (17年度 真偽)
- 4 建築物の外壁に光を投影することによって表示する広告物は屋外広告物である。 (16年度 真偽)
- 5 広告物の特色に関する記述として、適切でないものはどれか。 (18年度 択一)
- イ 広告塔は、遠望効果を狙うものだが、建物屋上設置広告塔は景観を阻害する恐れがある。
- ロ 突出広告板は、商店や会社への誘導機能を果たし、繁華街の主要な広告物なので街並みに配慮する。
- ハ センスのあるデザインによって統一された広告併用街路灯は、街のイメージを高める。
- ニ 電光広告板は、情報機能効果を優先させるため、景観調和の対象外となる。
- 6 広告板の形態による分類として、正しい組合せはどれか。 (17年度 択一)
- イ 平型広告板、箱型広告板、立体広告板、特殊広告板
- ロ 屋上広告板、壁面広告板、突出広告板、吊下広告板
- ハ 塗装広告板、プラスチック広告板、粘着シート広告板、金属銘板
- ニ 建植広告板、店頭広告板、立看板、電柱広告板

【広告物の素地の製作方法】

- 7 木枠布張り広告板の木枠の中桿は、枠と面一にする。 (18年度 真偽)
- 8 鉄骨組の屋外広告物は、鋼材枠の現場溶接を避け、できるだけ工場溶接で製作するとよい。 (17年度 真偽)
- 9 ハンマードリルは、コンクリート壁面に穴をあけるのに使用する。 (16年度 真偽)
- 10 めっき加工をしないで表面仕上げする真鍮文字はどれか。 (18年度 択一)

- イ みがき金
- ロ 赤銅
- ハ 青銅
- ニ ホワイトブロンズ

- 11 鉄骨金物の製作において、 $300 \times 300 \times t3$ の鉄板中央にΦ30のパイプ(钢管)を溶接した場合の鉄の特性を図示したものとして、正しいのはどれか。 (17年度 択一)

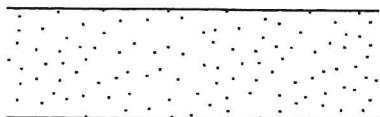


- 12 鉄アングル枠にアルミ板を貼る場合、適切でない方法はどれか。 (16年度 択一)

- イ リベット止め
- ロ タッピングしてビス止め
- ハ スポット溶接
- ニ テクス(タッピングスクリュねじ)締め

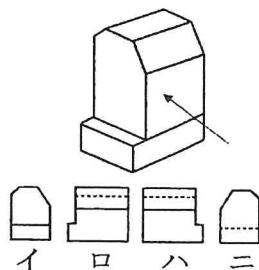
【広告物の製作図の作成方法】

13 日本工業規格（JIS）の建築製図通則によれば、下図は、左官仕上げの材料構造表示記号である。
(18年度 真偽)



14 構造計算書は、設計図に含まれる。 (16年度 真偽)

15 日本工業規格(JIS)の製図投影法における第三角法の描き方として、矢印の方向から見た図はどれか。
(18年度 択一)



16 平面的な描法の図面はどれか。 (17年度 択一)

- イ 外観図
- ロ 透視図
- ハ 投影図
- ニ 等測図

17 透視図の作図に関する用語の組合せのうち、誤っているものはどれか。 (16年度 択一)

- イ G. L. — 基線
- ロ H. L. — 垂直線
- ハ V. P. — 消点
- ニ S. P. — 立点

【広告物の取り付け方法】

18 独立広告塔のベースプレートのボルト穴とアンカーボルトのずれを避けるためには、基礎鉄筋枠にアンカー型でアンカーボルトを固定するとよい。 (18年度 真偽)

19 公道上における屋外広告物の取付工事は、交通に支障がなければ、所管する警察署長の許可は不要である。
(16年度 真偽)

20 広告板のつり下げに使用するつりボルトの耐力を材質により比較すると、大きいものから順に並べたものは、次のどれか。
(18年度 択一)

- イ SS400 > SUS304 > 鑄物製
- ロ SUS304 > 鑄物製 > SS400
- ハ 鑄物製 > SS400 > SUS304
- ニ SUS304 > SS400 > 鑄物製

21 建植板の柱を埋め込む方法として、最も適切なものはどれか。 (16年度 択一)

- イ 根元を基礎コンクリートで固める。
- ロ 根元に根がらみを付け、基礎コンクリートで固める。
- ハ 根元に根切りをして、基礎コンクリートで固める。
- ニ 根元を柱の1/2以上埋め込む。

【広告物の安全に関する力学の基礎】

22 建築物外壁に取り付けた広告物に作用する地震力は、広告板とその支持構造物の重量の合計よりも大きい。
(18年度 真偽)

23 風圧力は、下記の式で求められる。
風圧力=速度圧÷風力係数 (16年度 真偽)

24 表面積の大きな広告物の取付けに関する記述として、適切なものはどれか。 (18年度 択一)

- イ 風圧力よりも積雪荷重の影響が大きい。
- ロ 風圧荷重には耐えるが、地震力には非常に弱い。
- ハ 風圧力の影響をより重視しなければならない。
- ニ 風圧力よりも自重を考慮しなければならない。

25 文中の()内に当てはまる語句として、適切なものはどれか。

物に作用する「力」には、モーメント()とがあり、モーメントとは「力の効率」ともいわれるものであり、もう一方は「方向性をもっている力」である

- イ スカラー量
- ロ ベクトル
- ハ 分力
- ニ 偶力

26 文中の()内に当てはまる語句として、最も適切なものはどれか。

一般に広告物に作用する力のうち、地震は広告物の自重に、風圧は広告物の()や表面積に応じて大きくなる。
(16年度 択一)

- イ 形態
- ロ 容積
- ハ 材質
- ニ 断面積

【材料】

27 LEDは、高輝度であるが反射サインには適していない。 (18年度 真偽)

28 広告面の素材として多用されている樹脂低発泡材を芯にサンドイッチしたスチール複合板は、マグネット利用可能なホワイトボードとしても使用することができる。 (18年度 真偽)

29 塗装の塗替えが困難な箇所や海岸近くの場所に設置する広告物の鋼材には、溶融亜鉛鍍金(ドブヅケメッキ)が効果的である。 (17年度 真偽)

30 アルミニウム製ブラインドリベットは、合金製ブラインドリベットより強度が高い。 (17年度 真偽)

31 LEDは、数ボルトの低電圧光3原色が高輝度でバランス良く発光できるようになったため、映像、標識など様々な分野に用途が広がり、ネオンサインのあり方にも影響を与えている。 (17年度 真偽)

32 合金製ブラインドリベットは、アルミニウム製ブラインドリベットより強度が高い。 (16年度 真偽)

33 FRP(強化プラスチック)は、屋外広告板用の素材として適さない。 (17, 16年度 真偽)

34 木製浮き出し文字の素材として、最も適しているものはどれか。 (18, 16年度 択一)

- イ かつら材
- ロ ひのき材
- ハ ラワン材
- ニ 赤松材

35 樹脂低発泡材をサンドイッチしたアルミ複合板の芯材はどれか。 (18年度 択一)

- イ ポリスチレン
- ロ ポリエチレン
- ハ スチロール
- ニ ポリプロピレン

36 日本工業規格(JIS)に規定する形鋼の分類として、誤っているものはどれか。 (18年度 択一)

- イ V形鋼
- ロ H形鋼
- ハ I形鋼
- ニ T形鋼

37 屋外広告物の基礎コンクリートを造る際の記述として、正しいものはどれか。 (17年度 択一)

- イ 練りませから打終りまでの時間は、25°C以上で120分を限度とする。
- ロ 打込み時のコンクリートのやわらかさ等による施工軟度をワーカビリティという。
- ハ 生コンの強度はコンクリートを打ち込んだ日から3週目の強度をいう。
- ニ コンクリート品質が常用の場合のスランプは18cm以下とする。

38 屋外広告にも使用が多くなったLEDの発光波長として、誤っているものはどれか。

- | | | |
|---|--------|-----------|
| 色 | 波長(nm) | (17年度 択一) |
| イ | 青 | 470 |
| ロ | 赤 | 660 |
| ハ | 黄 | 588 |
| ニ | 緑 | 750 |

39 非鉄金属の各種素材に関する記述として、誤っているものはどれか。 (17年度 択一)

- イ アルミニウムー比重2.69と小さく、加工が容易で軽い。
- ロ 銅ー炭酸ガスにより、緑青ができる、耐食性が良くなる。
- ハ 真鍮ー銅とすずの合金、銅より硬く、耐食性も鉄より優れる。
- ニ 亜鉛ー表面に鉛基性炭酸塩の皮膜を生じると、内部の酸化を防ぐ

40 紙の規格に関する記述として、正しいものはどれか。 (17年度 択一)

- イ B1判の面積は、A1判の1.5倍である。
- ロ B1判の長辺は、A1判の長辺の1.5倍である。
- ハ B1判の1辺と、A1判の1辺との関係は、黄金分割比である。
- ニ A判とB判の面積や長さは、無関係である。

41 コンクリートの耐久性を左右する要因でないものはどれか。 (17年度 択一)

- イ ひび割れ
- ロ 凍結
- ハ 中性化
- ニ ブリージング

42 合成樹脂ベースの塗料シンナはどれか。 (16年度 択一)

- イ 蒸留水
- ロ エタノール
- ハ ミネラル・スピリット
- ニ ボイル油

43 塗料材料に関する記述として、正しいものはどれか。 (16年度 択一)

- イ 油性のパテには、調合ペイントを用いて調色する。
- ロ 調合ペイントは、乾燥剤の量を多く入れるほど素早く乾燥する。
- ハ 合成樹脂調合ペイントは、乾燥するとぬれ色より薄くなる。
- ニ 調合ペイントを薄めるためには、ラッカーシンナを用いると早く乾燥する。

【コミュニケーションとデザイン】

44 ダグマーの広告効果の階層モデルによれば、我々がある行動を取るときは、未知名→知名→理解→確信を経て行動にいたるとしている。 (18年度 真偽)

45 「AIDA DMA(アイドマ)の法則」によれば、広告効果の階層モデルは、注目→興味→記憶→欲求を経て行動にいたる。 (17年度 真偽)

46 「A I DMA(アイドマ)の法則」の最初のA、I、Dが表す意味の組合せとして、正しいものはどれか。

A I D

(18年度 択一)

- イ Attention(注目) Image(イメージ) Design(デザイン)
- ロ Attention(注目) Interest(興味) Desire(欲求)
- ハ Action(行動) Image(イメージ) Design(デザイン)
- ニ Action(行動) Interest(興味) Desire(欲求)

47 調和についての解説文の()内に当てはまる語句の組合せとして、適切なものはどれか。

調和とは「うまくつり合い、(a)がととのっていること。(b)又は衝突なく互いに程よく(c)すること」

a b c

(17年度 択一)

- イ 部分 対立 調和
- ロ 全体 否定 共存
- ハ 部分 反目 構成
- ニ 全体 矛盾 和合

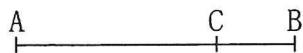
48 広告物のコミュニケーションの成立に関する記述として、誤っているものはどれか。 (17年度 択一)

- イ 知覚対象はメッセージを持っている。
- ロ メッセージはイメージを触発する。
- ハ イメージを了解することによって概念が生まれる。
- ニ コミュニケーションの目的は、概念の否定である。

【デザインの基礎】

49 黄金分割では、線分AB上の点Cを求めるとき、 $AC : BC = AB : AC$ となるようにする。

(18年度 真偽)



50 図の構成において、点は位置を示し、線は方向を示し、面は大きさを示す。 (17年度 真偽)

51 レタリングにおけるスペーシングとは、語句と語句との間の調整をいう。 (17年度 真偽)

52 単純な表現によるデザインは、力強さより優美さを表現する。 (16年度 真偽)

53 デザインに関する記述中のイ～ニの()のうち、誤っているものはどれか。

デザイン構成における調和とは、イ(2つ以上)の要素又は部分のロ(相互関係)が分離やハ(結合)し合わないで、統一された全体としてのニ(感覚的効果)を發揮しているときに、調和しているという。 (18年度 択一改題)

54 文中の()内に当てはまる語句の組合せとして、正しいものはどれか。

シンメトリーとは、左右の(A)が全く(B)であったり、同じ(C)が放射状にレイアウトされている場合をいう。

A B C

(16年度 択一)

- イ 対称 定形 対称
- ロ 形態 均衡 対称
- ハ 対称 均等 形態
- ニ 形態 対称 形態

55 文中の()内に当てはまる語句として、適切なものはどれか。

デザイン構成において、2つ以上の要素又は部分の相互関係が、分離したり排斥し合わないで、統一された全体として感覚的効果を發揮しているとき、()という。 (16年度 択一)

- イ 「対比している。」
- ロ 「シンメトリーである。」
- ハ 「ダイナミックである。」
- ニ 「調和している。」

【色彩】

- 56 補色関係にある2つの色を混合すると灰色に近くなる。 (18年度 真偽)
- 57 マンセル記号5B6/5は、濃い緑の系統の色を表す。 (18年度 真偽)
- 58 マンセル色彩表示において、赤の彩度は、10Rより5Rのほうが低い。 (17年度 真偽)
- 59 補色関係にある2つの色を混合する灰色に近くなり、これを減法混色という。 (17年度 真偽)
- 60 マンセルカラーシステムにおいて、各色相の純色は、無彩色軸から等距離になっている。 (16年度 真偽)
- 61 ビビットな色調は、「はっきりとした」、「鮮やかな」、「強い」などのイメージを持っている。 (16年度 真偽)
- 62 色の対比に関する記述として、誤っているものはどれか。 (18年度 択一)
- イ 赤色の背景の中の黄赤は、黄みを帯びて見える。
 - ロ 黄色の背景の中の黄赤は、赤みを帯びて見える。
 - ハ 紫色の背景の中の明るい灰色は、紫がかかるて見える。
 - ニ 黄色の背景の中の明るい灰色は、紫がかかるて見える。
- 63 マンセル記号による色の表記「5R 4/10」の説明文の()内に当てはまる語句の組合せとして正しいものはどれか。
5Rは(a)、4は(b)、10は(c)を表している。
- | | | | |
|---------------|---|---|-----------|
| a | b | c | (17年度 択一) |
| イ 朱赤 中明度 中彩度 | | | |
| ロ 金赤 中明度 高彩度 | | | |
| ハ 濃い赤 低明度 低彩度 | | | |
| ニ 紫系赤 高明度 高彩度 | | | |
- 64 色彩に関する記述として、正しいものはどれか。 (17年度 択一)
- イ 赤色と紫色は、補色関係にある。
 - ロ 光の3原色は、赤、黄、青である。
 - ハ 進出・後退の視覚現象は、色彩の持つ特性ではない。
 - ニ 色相、明度、彩度を色の3属性という。

- 65 文中の()内に当てはまる語句として、適切なものはどれか。
大きく見える色を膨張色(進出色)、小さく見える色を収縮色(後退色)というが、これらは()によって左右されることが著しい。 (16年度 択一)

- イ 色相
- ロ 明度
- ハ 彩度
- ニ 原色

- 66 混色に関する記述のうち、誤っているものはどれか。 (16年度 択一)
- イ 混色には、加法混色、減法混色及び中間混色と呼ばれるものがある。
 - ロ 絵具や染料などの物体色は、混ぜ合わせると色が暗くなる。
 - ハ 中間色は、板面を色区分したものを回転させて確認することができる。
 - ニ 織物やカラー印刷の網点などの混色は、加法混色に属する。

【広告デザイン】

- 67 レタリングにおけるスペーシングとは、行間を調整することをいう。 (18年度 真偽)
- 68 企業の新しい理念構築に始めるイメージやコミュニケーション・システムを意図的・計画的に作り出す経営戦略を“CI”(コーポレート・アイデンティティ)という。 (18年度 真偽)
- 69 企業行動の表出のシステムのCIとは、コーポレート・イメージの略である。 (17年度 真偽)
- 70 ローマ字書体の斜体は、一般に、イタリックと呼ばれている。 (16年度 真偽)
- 71 ローマ字書体のラインシステムの中で、小文字の高さを決めるため特に重要なラインをミーンラインという。 (16年度 真偽)

72 ローマ字書体が活字として製作された時代の順序として、正しいものはどれか。 (18年度 択一)

- イ オールドローマン→モダンローマン→ゴシック→サンセリフ
- ロ ゴシック→オールドローマン→モダンローマン→サンセリフ
- ハ ゴシック→オールドローマン→サンセリフ→モダンローマン
- ニ オールドローマン→ゴシック→サンセリフ→モダンローマン

73 サイン文字の可読性に関する記述として、誤っているものはどれか。 (18年度 択一)

- イ 視認性の高い文字は必ずしも可読性が高いとは限らない。
- ロ 照明の輝度を上げると文字の可読性は落ちる場合がある。
- ハ 自動車から見る場合、スピードを上げるほど可読性は高まる。
- ニ 夜間、内照式サインの場合、黒地に白抜きの特大ゴシック体は、可読性が低い。

74 書体デザインとそれが誕生したときの時代思想との組合せとして、誤っているものはどれか。 (18年度 択一)

- イ モダンローマン体—情報化時代(現代)
- ロ サンセリフ体—機能主義のデザイン思想
- ハ ゴシック体(ドイツ文字)—中世キリスト教文明
- ニ オールドローマン体—古代ギリシャ、ローマ文明

75 文中の（ ）内に当てはまる語句として、適切なものはどれか。

2本のネオン管が分かれで見える限界は、その間隔の1000～1500倍と言われている。ネオン管文字の「田川」が1000m離れて読めるためには、文字高は最低（ ）mm以上必要である。 (17年度 択一)

- イ 1
- ロ 2
- ハ 4
- ニ 8

76 文中の（ ）内に当てはまる語句の組合せとして、正しいものはどれか。

屋外広告物や公共サイン等は、案内・誘導・指示・禁止などの機能があるが、これらとともに、町の個性を創り、その(A)に深く係わるものとして、(B)が重視されている。

	A	B	(16年度 択一)
イ	販売促進	メッセージ	
ロ	アイデンティティ	販売促進	
ハ	都市化	ライトアップ	
ニ	景観形成	アイデンティティ	

77 ヘルベチカ書体はどれか。

(16年度 択一)



【美観風致】

78 地域における景観の特性を把握するためには、自然、生活文化、空間などの要素を考慮することが重要である。
(18年度 真偽)

79 ランドマークとしての人工的な建造物は、地域における景観の特性を把握する上では特に考慮する必要はない。
(17年度 真偽)

80 地域における景観の特性を把握するためには、自然、生活文化、空間などの要素を考慮することが重要である。
(16年度 真偽)

81 風致の維持は優れた都市景観を創出する上で重要であるが、「風致」の内容として、適切でないものはどれか。
(18年度 択一)

- イ 自然が豊かな丘陵
- ロ 郷土的意義のある田園
- ハ 緑が豊かな低密度住宅地
- ニ 歴史的建造物としての社寺

82 良好的な都市景観を創出する手段である「美観風致の維持」の「美観の維持」に関する記述のイ～ニの()のうち、適切でないものはどれか。
イ (都市の特性)に応じ、ロ (建築物の配置、構造、意匠)などがハ (市街地における道路、公園等の公共施設)などと調和と均齊のとれたものとするなど、主としてニ (都市における自然環境)を維持しようすること。
(17年度 択一)

【関係法規】

83 屋外広告物関係法令によれば、適用除外広告物である限り、掲出に際して都道府県知事の許可は必要ない。
(18年度 真偽)

84 屋外広告物関係法令によれば、条例によって、広告物及びこれを掲出する物件の意匠、色彩については規制できないこととなっている。
(17年度 真偽)

85 屋外広告物法や都市計画法でいう「美観」とは自然美、「風致」とは人工美を指している。
(16年度 真偽)

86 野球場内、遊園地内、駅のホームなどに表示された広告物は、屋外広告物に該当する。
(16年度 真偽)

87 屋外広告物関係法令等による景観計画に関する記述として、誤っているものはどれか。
(18年度 択一)

- イ 景観法に基づき定められる。
- ロ 景観に関する総合的な計画である。
- ハ 屋外広告物の表示や掲出に関し、制限を設けることができる。
- ニ 屋外広告物条例に適合した広告物であっても、景観計画に適合しなければ、掲出が制限される。

88 平成16年に改正された屋外広告物法の目的に関する記述条文として、最も適切なものはどれか。
(17年度 択一)

- イ 美観風致の維持と公衆に対する危害の防止を目的としている。
- ロ 良好的な景観形成と、風致の維持、公衆に対する危害の防止を目的としている。
- ハ 良好的な景観形成と、美観の維持、公衆に対する危害の防止を目的としている。
- ニ 良好的な景観形成と、美観風致の維持、公衆に対する危害の防止を目的としている。

【安全衛生】

89 インクジェットプリンタを使用する作業では、有機溶剤作業主任者の選任や排気装置の設置を含む措置が必要となる場合がある。
(18年度 真偽)

90 労働安全衛生関係法令によれば、事業者は、労働者につり上げ荷重が1トン未満の移動式クレーンの運転業務に就かせる場合は、安全のための特別教育を受けさせなければならない。
(18年度 真偽)

91 労働安全衛生関係法令によれば、作業床の高さが10m以上の高所作業者の運転の業務は、技能講習を修了したものでなければ、行ってはならない。
(17年度 真偽)

92 労働安全衛生関係法令によれば、屋内作業場において有機溶剤を取扱う業務については、作業場の数に関係なく一社一人の有機溶剤作業主任者を置くことが義務付けられている。
(17年度 真偽)

93 労働安全衛生関係法令によれば、事業者は、労働者につり上げ荷重が1トン未満の移動式クレーンの運転業務に就かせる場合は、安全のための特別教育を受けさせなければならない。
(16年度 真偽)

94 塗装に使用した有機溶剤や油性塗料の付着したウエスを1箇所に積み上げておくと、自然発火することがある。
(16年度 真偽)

95 文中の（ ）内に当てはまる語句として、正しいものはどれか。

労働安全衛生関係法令によれば、作業床の高さが（ ）以上の高所作業車の運転は、技能講習を修了したものでなければ、その業務に就くことができない。 (18年度 択一)

- イ 2 m
- ロ 3 m
- ハ 5 m
- ニ 10m

96 作業場内の環境を快適に保つことは、従業員の安全や健康、効率の良い作業を継続する上で重要である。屋内作業場の環境と、環境を快適に保つために必要な措置の組合せが適切でないものはどれか。 (17年度 択一)

- | 環境 | 措置 |
|-------------------------------------|----|
| イ 空気環境—粉じんや臭気について、不快と感ずることのないようにする。 | |
| ロ 視環境——採光、色彩環境、光源の性質にも配慮する。 | |
| ハ 溫熱環境—作業の内容、季節にかかわらず常に一定の温度に保つ。 | |
| ニ 音環境——作業場内の騒音源となる機械設備を遮音材で覆う。 | |

97 作業中に化学物質による中毒症状を起こした際にに行う応急処置の手順のうち、誤っているものはどれか。 (16年度 択一)

- イ 周囲の状況から中毒の原因となった物質を確認する。
- ロ 振発性物質・腐食性物質を誤飲し、けいれんや意識障害などの症状がある場合には、毒物を吐かせる。
- ハ ガスを吸引した場合は、きれいな空気の場所に移動させ、衣服を緩め安静にさせる。
- ニ 皮膚に付いた場合は、汚染した衣服を脱がせ、流水で水洗いし、皮膚からの吸収を抑えるとともに毒物を薄める。

【機械器具】

98 エアスプレーガンのノズルに関する記述のイ～ニの（ ）のうち、適切でないものはどれか。

エアスプレーガンのノズルは、塗料のイ(種類)、ロ(粘度)、ハ(粒子)並びにニ(希釈剤)によって交換すべきである。 (18年度 択一)

99 合成樹脂塗料のうち、水溶性塗料はどれか。 (16年度 択一)

- イ マスチック塗料
- ロ 塩化ビニル塗料
- ハ 酢酸ビニル塗料
- ニ フタル酸樹脂塗料

1級共通

【広告物の種類及び構造】

- 1 ×
2 ×
シートポスター広告板は材料による分類。(社団法人全日本屋外広告業団体連合会発行「屋外広告ハンドブック 第2版」P76,7)
3 ×
4 ○
5 ニ
6 イ

口、ニは、設置位置、ハは材料による分類(社団法人全日本屋外広告業団体連合会発行「屋外広告ハンドブック 第2版」P75)

【広告物の素地の製作方法】

- 7 ×
8 ○
作業性、安全性、設備面、経済性からも、現場より工場での溶接が適している。(株式会社ぎょうせい発行「屋外広告の知識第3次改訂版 設計・施工編」P179)
9 ○
10 イ
11 ニ
12 ハ

【広告物の製作図の作成方法】

- 13 ○
14 ×
15 口
16 イ
17 口

【広告物の取り付け方法】

- 18 ○
19 ×
20 イ
21 口

【広告物の安全に関する力学の基礎】

- 22 ×
建物に取り付けられた広告板に作用する地震力は、広告板とその支持構造物の重量の合計と同じ。(株式会社ぎょうせい発行「屋外広告の知識 第3次改訂版 設計・施工編」P71)
23 × 風圧力=速度圧×風力係数
24 ハ
25 口 株式会社日本実業出版社発行「はじめての構造力学」P19,P25
26 イ

【材料】

- 27 ×
28 ○ 表面がスチール薄板なので可能。
29 ○
30 ×
31 ○
32 ○
33 ×
34 イ
35 口

- 36 イ
37 口
38 ニ
色光は波長の長いものから赤 橙、黄、緑、青の順であることから回答可能。緑は555～565nm。(株式会社オーム社発行「光エレクトロニクス」P77)
- 39 ハ
真鍮は銅と亜鉛の合金。(学芸出版社発行「初めての建築材料」P104)
- 40 イ
41 ニ
ニは凝結中に水が浮かび上がる現象のこと。(学芸出版社発行「初めての建築材料」P68)
- 42 ハ
43 イ

【コミュニケーションとデザイン】

- 44 ○
45 × 注目→興味→欲求→記憶→行動
46 口
47 ニ
48 ニ

【デザインの基礎】

- 49 ○
50 ○
51 × 語句と語句ではなく、文字と文字。
52 ×
53 ハ ハは正しくは「排斥」
54 ニ シンメトリーは、上下、左右対称、あるいは放射対称であるため均衡がとれ、安定して見える。
55 ニ

【色彩】

- 56 ○
57 ×
58 × 10Rの方が低い。
59 ○ 色相環で隣り合う色を「類似色」、向かい合う色を「補色」という。
60 ×
61 ○
62 ハ ハは、黄色みがかった見える。
63 口
64 ニ
65 口
66 ニ

【広告デザイン】

- 67 ×
68 ○
69 × CIはコーポレート・アイデンティティ(自己証明)の略、企業行動は、ビヘービア・アイデンティティ(BI)。
70 ○
71 ○
72 口
73 ハ ハは視認性、可読性共に落ちる。
74 イ イは機械化時代(近世～近代)

- 75 口
最低の1000倍と仮定すると、2本の間隔が分かれて見えるためには1m必要であるため、田の字を見分ける
- 76 ニ
- 77 ニ ハはフーツラ

【美観風致】

- 78 ○
- 79 ×
ランドマークとは、ある地域の目印や象徴的な景観要素となるもので、地域における景観の特性を把握する上では考慮すべき要素とされている。
- 80 ○
- 81 ニ ニは景観の内容を述べている。
- 82 ニ 美観の維持とは、都市の造形美、人工美を維持すること。

【関係法規】

- 83 × 表示に際して知事の許可が必要となる適用除外物件がある。
- 84 ×
- 85 ×
- 86 ×
- 87 ニ
屋外屋外広告物が二重規制されないよう、屋外広告物は屋外広告物条例によって規制されているが、屋外広告物と景観計画との整合性をはかる目的で屋外広告物法第6条が規定されている。(株式会社ぎょうせい「屋外広告の知識 第3次改訂版 法令編」P19)
- 88 口

【安全衛生】

- 89 ○
ソルベントインクに有機溶剤シクロヘキサンが使用されている場合、有機溶剤中毒予防規則に基づく措置が必要。(労働安全衛生法施行令別表、有機溶剤予防規則)
- 90 ○
- 91 ○
- 92 × 1社1人ではなく、作業場を行う現場ごとに1名の作業主任者を置く必要がある。(労働安全衛生法)
- 93 ○
- 94 ○
- 95 ニ
- 96 ハ 事業者が講すべき快適な職場環境の形成のための措置に関する指針(H4. 7. 1労働省告示第59号)
- 97 口 挥発性物質・腐食性物質は吐かせると通り道となる食道などの器官をさらに傷つける。

【機械器工具】

- 98 ニ 希釀剤は粘度を調整するものであり、ノズル径との関係はない。
- 99 ハ

1級ペイント

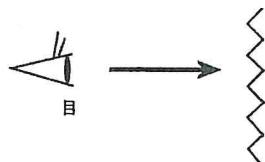
【専門仕上げ法】

- 100 ×
- 101 ○
- 102 ○
- 103 ×
- 104 ×
- 105 ○
- 106 ×
- 107 ○
- 108 ○

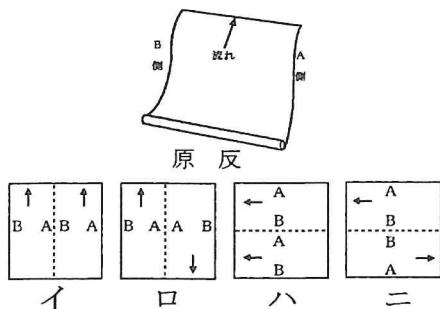
1級問題 シート

【専門仕上げ法】

- 147 窓ガラスに粘着シートや日照調整フィルムなどを貼ると、熱割れを生じることがある。 (18年度 真偽)
- 148 水性インクジェットプリンタは、一般に使用されている粘着シートに印刷できる。 (18年度 真偽)
- 149 寒冷地での文字や細かいイラストの貼り込み作業では、水を使用しないほうが作業性がよい。 (18年度 真偽)
- 150 スリッターは、粘着シートをロールのまま特定の寸法幅で切ることができる機械である。 (18年度 真偽)
- 151 同一品質の粘着シートをガラス板、カラー鉄板、塩化ビニル板に貼り付けた場合の接着強度は、塩化ビニル板が最も弱い。 (18年度 真偽)
- 152 粘着シートを円形に切る場合、半径150mmくらいまではサークルカッタを用いることが多い。 (18年度 真偽)
- 153 飛散防止フィルムの接着強度は日本工業規格(JIS)に規定されている。 (17年度 真偽)
- 154 レーザー光線は、プラスチック板の切り抜きに応用されている。 (17年度 真偽)
- 155 水を使用しない粘着シートの貼り込みでは、ゴム製スキージをそのまま使うと滑りが悪い。 (17年度 真偽)
- 156 塩化ビニル板、アクリル板、ガラス板が粘着シートとの接着強度が強いのは、被着体の分子構造が粘着シートと類似しているためである。 (17年度 真偽)
- 157 壁装用の粘着シートは、ベニヤ板や内装用石膏ボードにプライマーを塗布することによって充分な接着強度を得ることができる。 (17年度 真偽)
- 158 カッティングマシンに入力したデータは、原寸原稿を作成して保管しておかないと再び出力することができない。 (17年度 真偽)
- 159 カッティングマシンの普及によって、粘着シートは企業のCI展開に有効な素材となった。 (17年度 真偽)
- 160 アクリル板をパイプヒータで折り曲げ加工する場合、加工温度は70°C前後がよい。 (16年度 真偽)
- 161 下記はいずれもコンピュータ・カッティングシステムにおける文字や図形をデータ化するものである。
 (1)ディジタイザ (2)スキャナ (3)プロッタ (16年度 真偽)
- 162 図の断面構造を持つ被着体に粘着シートを貼って、正面から見て正三角形に見えるための原稿は、縦長の二等辺三角形になる。 (16年度 真偽)



- 163 粘着シートの器具であるスキージには、へら先の硬さが数段階があるので、シートの材質に応じて使い分けたほうがよい。 (16年度 真偽)
- 164 粘着シートの文字や図形に転着シートを貼り、現場を持って行く場合は、なるべく丸めないようにする。 (16年度 真偽)
- 165 プラスチック板の洗浄には、帯電防止剤と同じように中性洗剤が有効である。 (16年度 真偽)
- 166 スリッタは、粘着シートをロールのまま特定の寸法幅で切ることができる機械である。 (16年度 真偽)
- 167 大きなガラス面に色つき日照調整フィルムを繋いで貼るとき、最も作業性のよい繋ぎ方はどれか。 (18年度 択一)



168 インクジェットプリンタの出力施工に関する記述として、誤っているものはどれか。 (18年度 択一)

- イ 出力されたものにラミネート加工すると耐候性がよくなる。
- ロ 出力されたものの周囲にエッジテープを貼ると耐候性がよくなる。
- ハ 水性インクで出力されたものは、油性や有機溶剤系に比べ退色性に優れている。
- ニ 油性や有機溶剤系で出力されたものは、水性に比べて縮みが大きい。

169 ライトテーブルを使用しないで行う粘着シート作業はどれか。 (18年度 択一)

- イ 貼り込み
- ロ カッティング
- ハ プリント
- ニ トレーシング

170 屋外用粘着シートにフッ素樹脂をコーティングした製品に関する記述として、誤っているものはどれか。

(18, 16年度 択一)

- イ 耐候性に優れている。
- ロ 耐汚染性に優れている。
- ハ インク等を用いての印刷はできない。
- ニ 重ね貼りはできない。

171 塩化ビニルの粘着シートを貼り込むと、しばらくして気泡が生じる被着体はどれか。 (18年度 択一)

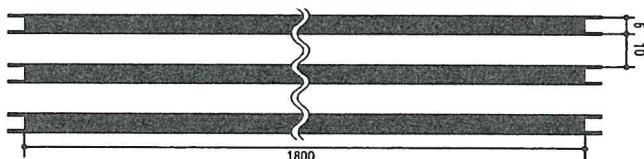
- イ ガラス板
- ロ アクリル板
- ハ スチール板
- ニ ポリカーボネート板

172 文中のイ～ニの()のうち、誤っているものはどれか。

反射シートは、表面にイ(プリズム状のレンズ)が集まっており、ヘッドライトがロ(当たった方向)に光を反射し、夜間はハ(強く光って見える)ので、ニ(道路標識など)に使われている。 (18年度 択一)

173 下図のような細い数本のラインの製作、貼込み作業に関する記述として、正しいものはどれか。

(17年度 択一)

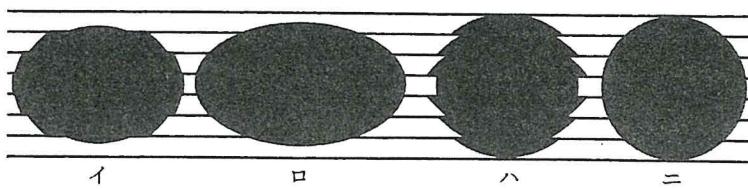


- イ 10mm幅のマスキングテープで間隔を決めて、一本ずつ貼っていくほうが失敗が少なく、効率がよい。
- ロ ラインカットの後、あきを剥がし(かす取り)、展着シートを使い水貼りするとよい。
- ハ ラインカットの後、あきを剥がし(かす取り)、転着シートを使いナマ貼り(水を使わないで貼る)するとよい。
- ニ ラインカットの後、転着シートを使い水貼りし、最後にあきを剥がすとよい。

174 次の粘着シート作業における転写シートの選び方として、誤っているものはどれか。 (17年度 択一)

- イ 小さな文字を水を使わずに貼るときは、透明で粘着力の強いほうが使いやすい。
- ロ 比較的大きな文字を水貼りするときは、粘着力が弱いほうが使いやすい。
- ハ 細いラインを水を使わずに貼るときは、厚みのある腰の強いほうが使いやすい。
- ニ シャッター等の凹凸のある被着体に広い面積のシートを貼るときは、折込みやすくするために薄く柔らかいほうが使いやすい。

175 凹凸の大きいシャッターに円を修正せずに粘着シート貼りをすると、どのように仕上がるか。 (17年度 択一)



176 車のサイドウインドウに熱線遮断フィルムを貼る場合の可視光線透過率の規制として、正しいものはどれか。 (17年度 択一)

- イ 前席は50%以上、後席は規制なし
- ロ 前席、後席とも50%以上
- ハ 前席は70%以上、後席は規制なし
- ニ 前席、後席とも70%以上

177 シール印刷機に関する説明のうち、誤っているものはどれか。 (16年度 択一)

- イ 粘着シートに印刷と型抜きを連続工程で行うことができる。
- ロ 凸版式印刷である。
- ハ 多色で重ね刷りができる。
- ニ 粘着シートをロール状で使用できる。

178 コンピュータ・カッティングマシンに直接関係のないものはどれか。 (16年度 択一)

- イ カッティング・プロッタ
- ロ デジタイザ
- ハ プリンタ
- ニ トレーシング

179 コンピュータ・カッティングマシン用粘着シートの特徴に関する記述として、正しいものはどれか。 (16年度 択一)

- イ 裏紙が厚いので、カッティングマシンの針圧調整が容易である。
- ロ 粘着シートの接着力を少し弱くしてあるので、カッティングマシンの切れが良く、刃が長持ちする。
- ハ 粘着シートと裏紙とのつきを良くしてあるので、小さい文字を切るのに適している。
- ニ 粘着シートと裏紙とのつきを弱くしてあるので、カスを取りやすい。

180 文中のイ～ニの()のうち、誤っているものはどれか。

反射シートは、表面にイ (プリズム状のレンズ) が集まっており、ヘッドライトがロ (当たった方向) へ光を反射するので、夜はハ (強く光って見え) 、ニ (道路標識などに使われている) 。 (16年度 択一)

181 屋外広告用粘着シートの半透明色に関する記述として、正しいものはどれか。 (16年度 択一)

- イ 半透明にすることで、シートの厚みをより薄くすることができる。
- ロ 電飾用サインに使用したとき、表面色と透過色の色の差がない。
- ハ 半透明にすることで、表面のつやを出すことができる。
- ニ 電飾用サインに使用したとき、明るく見せることができる。

182 ライトテーブルを使用せずに見える作業はどれか。 (16年度 択一)

- イ 粘着シートの貼り込み
- ロ カッティング
- ハ プリント
- ニ トレーシング

【専門以外の仕上げ法】

- 183 アクリル板は、ホットジェットガンを用いて溶接加工ができる。 (18年度 真偽)
- 184 ローラブラシは、乾燥が速い塗料の塗装に適している。 (18年度 真偽)
- 185 アクリル板をパイプヒータで折り曲げ加工する場合の加工温度は、120°C前後がよい。 (17年度 真偽)
- 186 粘着シートにスクリーンプロセス印刷を施した場合、インキの質によっては、後でカーリングを起こすことがある。 (16年度 真偽)
- 187 ランニングソーの使用法に関する記述として、正しいものはどれか。 (18年度 択一)
- イ 固定した丸鋸に、板を直線に移動させて切断する。
ロ 固定した板を丸鋸が直線に移動して切断する。
ハ 上下運動するのこ刃に、板を自在に移動させて切断する。
ニ 固定した板に、上下運動するのこ刃を自在線を移動させて切断する。
- 188 金属鉄板のホワイトブロンズ仕上げに、最も多く用いられるものはどれか。 (18, 16年度 択一)
- イ 真鍮板
ロ アルミ板
ハ 鉄板
ニ ステンレス板
- 189 エアスプレーガンの使用直後の手入れに関する記述のうち、誤っているものはどれか。 (17年度 択一)
- イ 洗浄液をスプレーし、塗料通路を洗浄する。
ロ 空気キャップの先端部をブラシで洗浄する。
ハ 先端部、調整部を分解し、注油、組立を行う。
ニ 空気キャップをはずし、塗料ノズルをブラシで洗浄する。
- 190 F F サインに関する記述として、誤っているものはどれか。 (17年度 択一)
- イ F F サインは、F F シートを展張した広告板である。
ロ F F サインは、内照式広告板として使用される。
ハ F F は、表示面にフレキシブルフィルムが使われている。
ニ F F サインは、広い表示面の広告板に適している。
- 191 10mm角程度の文字を使用した屋外の説明板で、耐候性及び耐久性のあるものとして、適切なものはどれか。 (17年度 択一)
- イ ステンレス板に腐食加工したもの
ロ アクリル板に粘着シート文字貼りしたもの
ハ アクリル板に彫刻加工したもの
ニ 焼付鉄板にシルクスクリーンプロセスしたもの

- 109 ○
110 ×
111 ○
112 ×
113 ×
114 ○
115 ○
116 イ
117 イ
118 口
119 ハ
120 イ
121 ニ
122 ハ ローラブラシではラッカーを使用しない。
123 イ
124 ニ
うるしは十分な湿度がないと乾燥しない。これは主成分のウルシオールが酸化重合反応をして、塗装が硬化乾燥をするが、この時に湿気が反応の働きを助けるため。
125 ハ
126 ニ
シーラーは、下塗り前に塗布し、上塗り塗料の吸い込みを防ぎ塗りやすくし、素地と塗料の密着力を高める。
127 ニ
128 口
筋違刷毛は、腰が強く塗料の含みの良い馬毛などを使って作られている。ペイント用で隅や内部の塗装に適している。(朝倉書店発行「技術シリーズ 塗装」)
129 口

【専門以外の仕上げ法】

- 130 × 図はかまぼこ彫り。
131 ○
132 × 平滑・綺麗に仕上がる。
133 ×
134 ×
135 ○
136 ○
137 ×
138 イ
139 ハ
140 口
141 ニ 素材が発泡スチロールなので、FRP樹脂より堅固さに劣る。
142 ハ 木理とは木目のよい方向なので、反りとは関係ない。
143 口
144 口
145 イ
146 口

1級シート

【専門仕上げ法】

- 147 ○
148 ×
149 ○

- 150 ○
151 ×
152 ○
153 ○
154 ○ レーザーカッターマシンにより切断すると、切り口が平滑・透明で綺麗な仕上がりとなる。
155 ○
156 ×
157 ○
158 ×
159 ○
160 ×
161 ×
162 ○
163 ○
164 ○
165 ○
166 ○
167 □
168 ハ
169 ハ
170 ニ
フッ素樹脂コーティングは耐候性、対汚染性に優れ、適度なコーティングにより重ね貼りも可能だがインク等の印刷は不可能。
171 ニ
172 イ
173 ニ
174 ニ
175 イ
176 ハ
177 ハ
178 ハ
179 ハ
180 イ ガラスピーズが集まっている。
181 □ 半透明色は点灯時と消灯時の色差が少ない。
182 ハ

【専門以外の仕上げ法】

- 183 ×
184 ×
185 ○
186 ○
187 □ ランニングソーは大型(大判)の板を直線に切断する。板を台上に固定させ、丸鋸が直線を移動する。
188 イ
189 ハ
190 ハ
191 イ

2級共通

【広告物の種類及び構造】

- 192 ○
193 ○ 社団法人全日本屋外広告業団体連合会発行「屋外広告ハンドブック第2版」P78
194 ○ 社団法人全日本屋外広告業団体連合会「屋外広告ハンドブック 第2版」P80